

図書全漫歩

●開室時間 9:00~17:00
●休室日 毎週日・月曜日・祝日
●TEL・FAX 36-1044

◇幼児向け



せな けいこ
ポプラ社

『9ひきのうさぎ』

「あのね…、あのね…」真っ白いウサギさんがとってもすてきなことを考えた！集まった9匹のウサギさんは、うれしくなって、みんなでおおはしやぎ。何でだろう？何でかな？ いったい何をするんだろう。

◇小学生～一般向け



H・C・アンデルセン
日本放送出版協会

『雪の女王 鏡のかけら』

遠い北の氷の城にあった不思議な鏡が割れた。そのかけらは北風所に飛んでいった。それがすべての始まりだった。ゲルダという女の子と仲良しの男の子カイ。2人には想像もできない運命が…。

◇中学生～一般向け



佐藤 多佳子
講談社

『一瞬の風になれ』

春野台高校陸上部。特に強豪でもないこの部に入部した2人のスプリンター。ひたすらに走る、そのことが次第に2人を変え、そして、部を変える。昨年の本屋大賞（全国の書店員が一番売りたい本）第1位。

◇中学生～一般向け



石川 啄木
東山堂

『盛岡啄木手帳』

盛岡市ブランド推進の一環として石川啄木の明治37年から明治45年までの関係資料をまとめたもの。明治37年、金田一京助宛書簡、閑天地（抜粋）、明治39年、渋民日記（抄）、啄木ゆかりのまちなどを収録しています。

「まだまだ現役」



中村 弘三さん（緑区・75歳）

出番が長い「おぼろげな夢」

《316》

★：昭和40年代、出稼ぎブルムでみんなが都会に行くときに、(村に残って建設業を始めました。地元での雇用と従業員の生活を守るために、これまで必死に稼ぎました。★：今は息子(専務)に任せ、私は向野場で農業をしています。せっかくなので、地元の農業を無駄にはできないからねえ。ハウレンソウのハウスを12棟半やってんが、地元での雇用を考え建設の仕事が少ないときは、従業員にも手伝ってもらっています。もっと成功させて、若い人が一人でも多く地元で農業をできるようなになれば、うれしいな。まだまだ現役だよ。(笑)

久慈市の会社に勤めていたときに知り合い、10年前に結婚したという前川和久さんと奥さんの美也子さん。今は白井の実家で元気な男の子2人と両親の6人で暮らしています。

「夢はマイホーム」

美也子さん。和久さんは「おやじもまだ漁師をしているので、おかげを捕まけてきてくれたら助かっています。2人だけだったら厳しいですから」と両親に感謝していました。2、3年前に正社員になったという和久さん。「厳しい時代ですが、笑って過ごしていますね。いつか、いいことがありそうじゃないですか」と最後に話していました。(一理ありかも)

「休みの日は、お弁当のおかずを買いにスーパーカーで出掛けます。(スーパーカーらしいにしか自家用車を使わないので自称スーパーカーのこと)」
「今、してみたいことは、してみたいことではないですが、頑張って家を建てたいですね。」
「村へいって。」
「コンビニとか若い人が働けるところがあればいいですね。お母さん(美也子さん)も久慈まで行かないで働ける。(笑)」
「次号には、誰を紹介してくれますか。」
白井の藤島重男さんです。

文芸の世界

川柳愛好会
12月例会作品

何一つ出来ぬ私は愚痴るだけ
ああ人生されど人生やり残し
現代は顔はどうあれ心の美
愚痴るときやっばり老いを感じます
華麗なるホームシアター美の世界
やり残し来年こそはと思ふ暮れ
掛け捨てを覚悟で払う保険料
やり残しやり過ぎもあり今がある
品格の衰えを知る愚痴る舌
やり残し無いかと夫に念押しされ

加差野静浪

北野多佳子

峰はまゆり

三上 翠香

深渡 汀女

嵯峨 待女

「ポスター」

5・6年 角地恵美さん・金子美希さん・森子椋太君・駒木李音君・嘉村佳那恵さん



黒崎クリーンアップ作戦をしたら、ごみがたくさん落ちていました。自然を守ることを願って描きました。



「お話の世界」

4年 畠山 秀哉君

ほくがねん士でうまくできたところは、王さまです。目の形や足や手の形までうまくできました。



「キラキラのせかい」

2年 畠山 楓さん

花を青や赤やピンクにするのをくふうしました。ハートの形を切るのがぐねぐねしておずかしかったです。



ほくがねん 作品展

黒崎小
図画
工作